※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「美術１」　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現方式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に見方が広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（a）対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫しながら身につけ、創造的に表すことができるようにする。　（b）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって 美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。　（c）主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく情操を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形的な視点を豊かにするための知識を理解している。創造的な表現をするために必要な技能を身につけている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成している。創造的な表現の構想を練り、意図に応じて表現方法を工夫している。美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	油彩「接写」	・授業の流れや目標を理解し、主体的に学習する。 ・テーマに基づいて自身が撮影した写真から、素材を選び、構図や表現について構想を練る。 ・主題となる素材の魅力やイメージ、色の深みを丁寧に捉え、精密に表現する。 ・主題と背景との対比を表現し、画面全体を魅力あるものに仕上げる。 ・合評会	a:課題の主題や技法について正しく理解している b:素材を観察し特徴を捉えて表現を工夫できている c:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り
2・3学期	卒業制作	・自身が選んだテーマに基づいて、高校生活の記念となる平面作品を制作する。 ・木製Ｂ２パネルを用い、油彩、水彩、コラージュなど、思い思いの技法を使って平面作品を制作する。 ・各自が制作手順と日程の計画を立て企画書を作成する。 ・合評会	a:制作意図に基づき、主体的に作品を作り出すことができる b:想像力を働かせ、自由で柔軟な発想で作品を制作できる c:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	取組状況 提出作品	企画書 アイディアスケッチ 提出作品	取組状況 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度